



↑ひとたび雪をかぶると、ため息が出るほどに白く輝いた方城の炭鉱住宅。その露地には、大非常で塗炭の苦しみを味わった人々の涙と悲しみがしみこんでいた。家族との別れの冬を耐えた子どもたちは、どこで、どんな胸の火を燃やして生きてきたのだろうか…。



↑方城大非常で救い出された生存者（鉄工所の3人も含まれている）。前列左端が坂本藤市さん、前列右から3人目が見下多十さん。ともにボンブ座で働いていた。

インタビュー

数少ない生存者だった
坂本藤市さんの娘

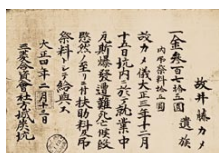
橋元 光子さん
(伊方 後谷)



母は「次女をとうとう助けることができなかった」と泣きながら三女のわたしに話してくれました。父は生存者の中で一番長生きし、74歳の命をまっとうします。ショックが大きかったのか、父は事故のことは口にせず、その後一度も坑内に下がることはありませんでした。

いるともさざやかれました。その年、方城は正月など祝えるはずもなく、次の日も、また次の夜も、非常のかがり火が鬼火のようにゆらめいていました。

つる悲しみと不安 遺族への見舞金



↑方城大非常の扶助料証書。(井藤さんは広島県北広島町出身の女性坑夫)

舞金が遺族に支払われましたが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

1人平均約375円の見舞金が遺族に支払われまし

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。

たが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。



←遺族の悲痛な声が響く。日本の炭鉱はどれだけの犠牲を生んできたのか。昭和に入っても坑内事故は後を絶たなかった。(三井三池炭鉱の遺族)

乾かない露地

―涙と途方に暮れた遺族

「今ありがたいぞ」「今あがつたぞ」。遺体が次々と昇坑されました。筑豊のヤマ（炭鉱）では、霊を導くため、搬送する遺体場所を呼びかける習わしがありました。その声を耳にするたび、帰りを待つ家族の胸は悲しく揺れ動きました。「遺体は4体ずつ重ね、合計8体を昇降機で上げよつた」と、遺体引きあげの光景を池本喜代蔵さんは語っています。

方城炭鉱発表の犠牲者数は671人、うち約2割が女性で、11歳から18歳の71人（男44人・女27人）もいました。孤児の数は94人。2か所の孤児院が急造され、24人の保育士が昼夜つきつきりで世話にあたつたと伝えられています。

身内がいる以上、遺体には遺族の確認が必要でした。「ちがう、父ちゃんやな

冷たくかわりはてた親の前で、幼子は崩れるようにして泣いた。雪をぬぐった手が、黒くにじんだ。

↓大非常で最愛の家族を失い、竹馬を横にふさぎ込んでいる孤児たち。写真：田川市図書館



うなずく子。大非常で父や母を失った人は303人におよびました。

女手一つで育てた3人の息子も失った岩本リエさんは、坑口の側に立ちつくし「息子をかせせ」と声をかざりに数日間叫び続けました。坑口に飛び込まればかりの彼女の様子を係員がつきつきりで見守つたと当時の新聞に記されています。

乳飲み子を背負つたまま夫の遺体にとりすがって泣く人。「あがり酒ばい」と語りかけ、涙をぬぐいながら遺体に酒をふりかける人。方城炭鉱の露地は乾くまもなく、遺族の涙を吸い続けました。事故翌朝の12月16日、発見場所や名前を記した板を掲げた少年が、タンカに

い。父ちゃん、は、こげな格好やなかつた。親の遺体を前にしやがみこむ子、棺の中を確かめて泣きながら職員の間いかけに

乗せられた遺体の先頭に立ち、帰りを待ちわびている家族の目の前を次々と通り過ぎていきます。気がつく、櫛のすき間からは、粉雪がはらはらと落ちていました。そのとき、雪をぬぐった手がたちまち黒ずんだといいます。

それは、黒い雪でした。爆発で無い上がつた黒煙が溶け込んだ粉雪でした。

ゆらめくかがり火

一年が明けても心の悲しみは明けない

方城炭鉱発表の生存者は21人。生還後まもなく「酸化炭素中毒で亡くなった人」もいました。橋元光子さんの父・坂本藤市さんは、数少ない生存者のひとりでした。足を被災した坂本さんを衝撃で目が見えなくなった見下多十さんが背負い、目が見える坂本さんの指示に従つて坑底にたどりつき、救助されたといひます。

やがて坂本藤市さんは、方城炭鉱の医局に入院。しかし、背中の痛みは、日がつにつれ、ひどくなる一方でした。医師があらためて診察したところ、背中には爆風で飛んだ坑夫の小指の骨が突

黒い粉雪

【無言の再会】

絶望との対面。変わりはてた遺体が昇坑するたび、むせび泣く声が方城のヤマに響いた。明日からどうやって暮らせばいいのか。僧侶が休むまもない読経に声をからす。やがてヤマ中が悲しみの香煙に包まれていった。

